「生産性向上」「操作技能向上」を実現し、導入前の不安を解消。

不安が安心に変わる スマートコンストラクション

「高いよね」お客様によく言われる言葉だと担当営業が教えてくれました。今回の事例も例外ではない。鹿児島県桜島町にある、長谷川の築堤工事。担当営業から導入の経緯を聞いた。スマートコンストラクションを導入することで生じるメリットを丁寧に説明し、以前使用したことのある関係者からの高評価もあり、導入を決めたとのこと。高精度且つ早く測量ができるドローン測量を取り入れ従来測量との比較も実施した。奥工事課長は、最初は半信半疑であったが、その精度と早さに驚いた。ＩＣＴ建機では、オペレータの操作をアシストしてくれるので失敗を恐れることなく思い切って作業ができる。精度も高いので法面整形時には、補助作業員の必要が無くなり、全体的に「工期短縮」「人員削減」「コスト削減」にも効果的だと感じて頂けたと話した。

工事課長 奥文雄さん

工事主任 小長野純司さん

鹿児島県 丸福建設（株）様

「技術の向上」を図り、
「和」の精神を大切にし、
「安全・確実・快適」をモットーに、新しい時代の創造に力を入れている。本事例では新技術の促進としてスマートコンストラクション現場導入をした。

掲載月:2016年5月

正確な操作感覚が身に付く マシンコントロール

ＩＣＴ建機を導入して施工への準備や毎日の電波状況確認など、「今まで無かった工程に手間がかかると最初は感じた」とオペレータは語る。ＩＣＴ建機を使用してみて、正確さには感動したが、同時に経験の浅いオペレータはアシスト機能に頼りすぎて技術面が向上しないではないか？熟練のオペレータは技術力が衰えてしまうのではないか？という懸念が生まれた。しかし、操作しているうちに「正確な操作感覚が身に付き、習熟が早くなると感じた」と小長野工事主任は話す。ＩＣＴ建機で高精度な施工ができ、作業時間の短縮と人員の削減もできたので、工事全体の生産性も向上出来たそうだ。「技術の向上」に力を入れる丸福建設株式会社は今後人手不足及び技術力低下が懸念される建設業界に対して、スマートコンストラクションの可能性に期待を示した。